

LEADERSHIP CHALLENGE

大隈塾LCレポート vol.2

第2回目の大隈塾リーダーシップ・チャレンジでは、鴨川自然王国⁽¹⁾で田植えを行いました。



10:30に東京駅八重洲口に集合し、専用バスに乗ってアクアラインを通って鴨川へ。「日本棚田百選」に選ばれている大山千枚田⁽²⁾を左に見ながらさらに山を登り、12:00ごろに歌手の加藤登紀子さんが運営する自然王国へ到着。山小屋に荷物を置き（女性はログハウス）、着替えを済ませて持参した昼食を、これから苗を植えていく田んぼを眺めながら食べました。

棚田は一枚一枚の田んぼが小さい。

学部の大隈塾ゼミの学生たちも合流し、総勢30名ほどが準備完了。かなりぎこちなく水田に足を突っ込み、よろよろしながら態勢を整え、王国の藤本博正さんと首藤武宏さんのご指導で田植えを始めました。

最初こそゆるやかなペースでしたが、次第に慣れてくるに従い、苗を植えていくともスムーズに動くようになり、40分ほどで小さな田んぼでの田植えを終え、休憩を挟んで一町歩ほどの田んぼに挑戦。リーダーシップ・チャレンジの社会人受講生とゼミの学部生たち30人が横一線に並んで田植えをする光景は壮観でした。

夜はバーベキュー。気温も落ちてかなり寒くなったので、焚き火を囲んで丸太の椅子に座り、お酒を楽しく飲みながら王国産の肉や野菜を焼いて食べました。

翌朝は7:00から、近くの「がんこ山」(通称)に。ところが、3月の大雪で倒れた木々や竹がところどころ道をふさいでいて、それらをナタで叩き斬りながら登り進んで行くと、20分ほどで頂上に到着。頂上はほんの一人分の広さしかないので、交代交代記念写真を撮っていました。

9:00からは藤本さんの講義「生き方に＜農＞を取り入れる持続可能な方法」。いわゆる脱サラして農家になり、小さいながらも会員制の農場を運営するようになった自身の体験から、小規模農業とビジネスとの関係、あるいはビジネスパーソンと「農」との関わり方などをお話いただいたあと、活発なディスカッションとなりました(3)。



(上) 焚き火で暖まりながらの夕食BBQ

(左下) がんこ山 (右下) 2日目講義



以下、メンバーのレポートの抜粋です。

=====
第一次産業の衰退は、日本の衰退にも直結する問題であり、企業人一人ひとりがこの問題に正面から向き合う事も重要であると認識できました。

・企業に求められるCSR、CSVの観点から環境保全等については意識が高まりつつありますが、産業そのものの活性化については議論が足りていないのではと感じます。それにはJAの抜本的な体制の見直し等も必要なのではないかと・・・感じます。

=====
食という最も身近なものに対して自分がこれまでいかに無関心だったかを感じさせられました。また、単純に機会がなかったならまだしも、田舎では祖母が田んぼと畑を持っているので関心を持つと思えば持てた環境にも拘らず……。祖母の話を一度きちんと聞いてみたいと思いました。

=====
TPP問題において、農業は大規模化しないと生き残れないという議論がよく行われていたが、王国のように規模は小さくなくても高付加価値商品を提供していく形態も農業の一つのビジネスモデルであると思う。様々なやり方があって産業は活性化すると思うので、外国の安い農産物に対抗するという理由でもって、全ての農家を画一的・強制的に大規模化する必要性はないことに気づいた。

=====
有機だと極端に収量が少なく、有機だと必ずしも作物がおいしくなるわけではない。そうではなくて金が掛からないから有機だと仰っておられたが、そういう視点もあるのかと気づくと共に、金をかけないで多角的農業（というかビールも）をやることでリスクヘッジにもなっていることに気づいた。

=====
小規模農家と大規模農家では考え方・やり方が違う。これは中小企業と大企業の運営方法が違う事とリンクしました。今回は中小企業が生き残るために考えている戦略を聞けたと思います。少量多品種、地域コミュニティーによる価値追求、特定ファン作りと会員囲い込み。

=====
自然に囲まれた中で田植えをしたり食事をしたりして時間を過ごしたが、首都圏で仕事をして生活しているよりも、時間がゆっくり流れていく感覚を持ち、また、心地よく感じた。人間はこのような生活を本能的に求めているからであり、そのためにも半農半Xという生き方はとても意義のあることであると思った。

(1)鴨川自然王国 <http://www.k-sizenohkoku.com/>

(2)大山千枚田 http://www.senmaida.com/about_senmaida/index.php

(3)王国側から見た今回の大隈塾 <http://www.k-sizenohkoku.com/2812>

大隈塾リーダーシップ・チャレンジレポート vol.2

2014年5月15日発行

大隈塾事務局（一般社団法人ストーンスープ）

村田信之 mura@ta2.so-net.ne.jp

169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-19 アーバンヒルズ早稲田207

tel:050-3558-7527 mail:stonesoup1010@gmail.com